



小田原男声合唱团

第24回定期演奏会



日時 1995年11月11日(土) 18時30分開演

場所 松田町民文化センター

本日は、大変お忙しいところ私たちの演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

ここに、第24回定期演奏会を松田町民文化センターにおいて、開催できますことを大変うれしく思います。また、今回の定期演奏会を開催するに当たり、地元関係者の方々はじめ西湘地区の他合唱団からの応援・協力をいただきましたことに対して、心より御礼申し上げます。

私たち小田原男声合唱団は、昭和47(1972)年5月16日に第1回定期演奏会を開催して以来、数多くの貴重な体験を積み重ねて参りました。そして、定期演奏会のステージ数も93~96ステージを数えることになりました。来年はいよいよ大台の100ステージを迎えることとなります。

本年は、神奈川男声合唱協会の創立に当たり、その結成記念演奏会を4月22日に小田原市民会館で開催いたしましたため、例年7月に行っておりました定期演奏会を11月に開催することとなりました。久し振りに、菊薫る文化の秋の演奏会、しかも1年間の成果を問う定期演奏会とあって、私たちも常にも増して心を引き締めたいところなのです。

この度の定期演奏会は、四つのステージそれぞれに趣向を凝らしましたが、さらに雰囲気盛り上げるために、皆様と一緒に全員合唱「里の秋」で楽しい演奏会にしたいと思えます。プログラムの一つ、「フォスター・メドレー」は美しいメロディーに満ちており、中学校時代に英語で歌った経験をお持ちの方も多く、懐かしさを感じられることでしょう。また、長年歌い続けて参りました「日本民謡集」も今回は新しい編曲によるものをいくつか取り上げました。今までの編曲とは少々異なる楽しさでお聴きいただけたかと思えます。音域が広く、変化の多いデュオオーパーの「荘厳ミサ曲」、ドイツ語の発音が大変だったブラームスの「ジプシーの歌」、この2曲は昨年に引き続き客演指揮をお願いいたしました外山浩爾先生の指揮で歌います。

私たちは、今日の日を一つの節目としてさらに大きく発展するために、西湘地区あるいは神奈川県を中心に、地域に根ざした演奏活動をこれからも続けていきたいと思っております。そのために団員のチームワークを確固たるものとし、力を合わせ新しい分野にも挑戦していく所存です。

来年は定期演奏会も第25回となります。平成8年11月2日に開催の予定で、すでにいろいろな企画を進めておりますが、“完全燃焼の小田男”を目指し頑張りますので、今後ともより一層のご声援をお願いいたします。

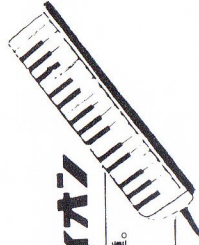
本日は大変ありがとうございます。

はじめて出逢う・音楽のよろこび

おんがの

ススキメロディオン

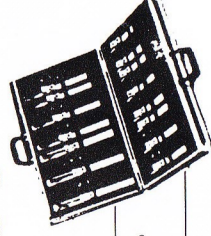
ソプラノからバスまで13機種。
演奏性・用途に合わせた
メロディオン。



MR. 主演

トーン・チャイム

創造するよろこびが、音楽のよろこび。
トーン・チャイム。



株式会社 鈴木楽器製作所

〒430 浜松市須家2-25-11 TEL.<053>463-6601

鈴木楽器販売株式会社

東京支店:東京都品川区西五反田7-22-17 TEL.<03>3494-3937



客演指揮



外山浩爾

父は日本楽壇の功労者である外山国彦氏、兄は現NHK交響楽団正指揮者、神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督外山雄三氏という、音楽一門に生まれ、幼少の頃から父国彦氏や有馬大五郎、岡田九郎両氏により本格的な音楽教育を受けた。東京芸術大学声楽科に入学、柴田睦隆、ヴァーハーベニツヒ、リア・フォン・ヘッサート諸氏に師事し、卒業後、直ちに同大学及び同付属高校で教鞭をとった。その傍ら藤原歌劇団の活動に参画し、「カルメン」をはじめ多くのオペラに出演した。

現在、鳴門教育大学において音楽教育に携わるとともに、全日本合唱連盟活動の推進に力を注いでいる。1992年には文部大臣より教育功労表彰を受けた。

渡邊 決己

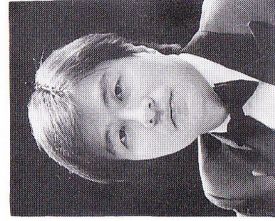
指揮



幼時よりヴァイオリンを鷺見三郎、ピアノを田村宏各氏に師事。桐朋指揮聴講にて斎藤秀雄氏から、東京芸術大学にて三石精一、金子登の各氏から指揮法を学ぶ。また作曲法を島岡議氏に、管弦楽法を佐藤真氏に、声楽を伊藤亘行氏にそれぞれ師事。卒業後、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮を9年間務め、NHK交響楽団にて指揮研究を行い、神奈川県民ホール「サマーヴァケイションコンサート」で神奈川フィルに、「韭崎のN響音楽教室」でN響に、それぞれデビューした。

東京室内歌劇場で数々のオペラを指揮するとともに、ホリアロ主役ミュージカル“ピーター・パン”、宮沢りえ、鳳蘭主演“ジプシー”、NTV主催“アニー”を指揮、好評を博した。また作・編曲の分野においても、“NHKみんなのうた”等で、お茶の間に数多くの曲を提供している。小田原男声合唱団をはじめアマチュア合唱団、オーケストラ、市民オペラの育成にも力を入れ、坂東玉三郎、真田広之等、数多くの俳優の音楽指導も行っている。

客演ピアノ



小林 功

東京芸術大学付属高校、同大学を経て、1981年同大学院修了。その間、文化放送音楽賞を受賞し、東京芸大定期演奏会、読売新聞新人演奏会にも出演した。1983年西ドイツ、フライブルク音楽大学にて西ドイツ国家演奏試験合格。この間、広瀬恵子、久保みち、伊達純、アンドレ・マーシャヤン、エディット・ピヒト・アクセンフェルト氏に師事した。現在、宇都宮大学教育学部音楽科で教鞭をとる傍ら、意欲的な音楽活動を行っている。

ピアノ



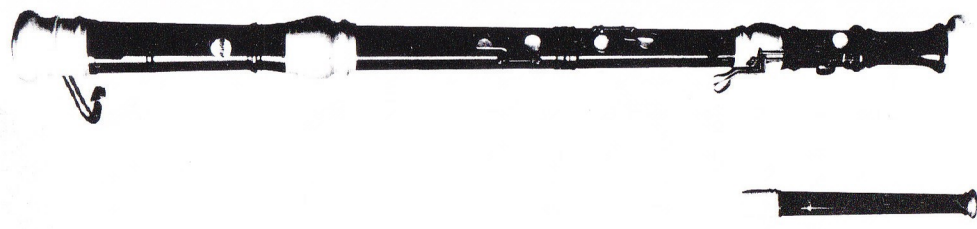
大背戸亜紀子

桐朋学園大学音楽学部デリアプロマコースをこの春修了。1992年春東京で開催されたフェデリコ・モンボウコンクールにおいて、第1位、特に設けられたカルメン・ブラーボ（モンボウ未亡人）賞を受賞した。93年7月にはスペイン音楽こだまの会主催「フェデリコ・モンボウ〜詩情の世界」にも出演。94年秋、95年夏にはバルセロナにあるグラナドスの創立したマリーシャル音楽院に留学、故イーゴリ・マルケヴィッチ夫人、カルロタ・ガリーガ女史やカルメン・ブラーボ女史のレッスンの他、アリシヤ・デ・ラローチャ女史からも親しく教えを受けた。

以後、スペイン音楽の精髓を弾き表せるピアニストにならうと熱意を傾け、成果を上げていく。しほみこールのピアニストを務める傍ら、今春から小田原男声合唱団のピアニストとして活躍している。

ALUOS®

from クライネ
to バス・アウロス。



シングルフレーム No. 501 S シングルフレーム No. 503

アウロスが語る超特密技術の結晶。
格調高いバロック調のデザイン。
美者に似る色彩のグオアシング。
世界一流アッパー・レンジの名称。
ソプラノ・アルトリコーダー全機種
新考案・指かけ付!
分売価格 ソプラノ100円・アルト200円

トヤ楽器製造株式会社

東京本社/〒174 東京都板橋区大原町41
TEL 03-960-8301(代)
大阪営業所/〒541 大阪市中央区北久宝寺町2-1-7
本町和光ビル802号 TEL 06-264-1191(代)

I MESSE SOLENNELLE

デュオウバ 作曲

荘嚴ミサ曲 二短調

1. Kyrie
2. Gloria
3. Credo
4. Sanctus
5. Agnus Dei
6. Pie Jesu

II FROM THE SUNNY SOUTH

フォスター・メドレー

フォスター作曲
福永陽一郎編曲

III Zigeunerlieder Op. 103

ジプシーの歌

ブラームス作曲
福永陽一郎編曲

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| 1. He, Zigeuner | おお、ジプシーよ |
| 2. Hochgetürmte Rimaflut | 波立つリマ |
| 3. Wisst ihr, wann mein Kindchen | ごぞんじですか |
| 4. Lieber Gott, du weisst | 神様、あなたは知っておいでだ |
| 5. Brauner Bursche führt zum Tanze | 日焼けした若者が踊りに行く |
| 6. Röselein dreie in der Reihe | 三つの赤いバラが |
| 7. Kommt dir manchmal in den Sinn | 聖なる誓い |
| 8. Rote Abendwolken | 赤い夕焼け雲 |

IV 日本民謡集

- | | | |
|-----------|----------|---------|
| 1. 遠島甚句 | 宮城県民謡 | 小山 清茂編曲 |
| 2. 刈干切唄 | 宮城県民謡 | 石井 歡作曲 |
| 3. 斎太郎節 | 宮崎一章作詞作曲 | 宮花 秀昭編曲 |
| 4. 島原の子守唄 | 熊本地方民謡 | 福永陽一郎編曲 |
| 5. おてもやん | | 福永陽一郎編曲 |

歌 詞 邦 訳
Zigeunerlieder. ジプシーの歌

1. He, Zigeuner

おお、ジプシーよ

それ！ジプシーよ絃を弾け！
不実な乙女の歌を奏でよ！
絃を泣かせ、嘆かせ、悲しく震わせよ
熱き涙がこの頬を濡らすまで

2. Hochgeturmt Rimaflut

波だつりマ

波高きリマの流れ、なぜにかくも濁れる
恋せる人を嘆き叫げれば
波は逃げ、波は流れ、岸辺の芳へと
ざわめき立てる、
リマの岸辺に永久に嘆かせよ、恋せる人を求めて！

3. Wisst ihr, wann mein Kindchen

ごぞんじですか

僕の恋人が一番美しくなる時をご存知？
甘く、愛くるしい口許がお茶目で、笑い、接吻する時
乙女よ、お前は僕のもの、心をこめて接吻しよう
神様は僕だけのために、お前を創り給うた！

私の恋人が一番素敵になる時をご存知？

私を腕に抱きしめる時

私の宝よ、心をこめて接吻しましょう

神様は私だけのために、あなたを創り給うた！

4. Lieber Gott, du weisst

神様、あなたは知っておいでだ

愛する神様ご存知ですか、恋する人とした接吻を
どれほど後悔していることか
接吻しなくなっちゃだめですと、この心が言いました
生ある限り思いますが、あの初めての接吻を
愛する神様ご存知ですか、悲喜こもごもに恋する人を
どんなに度々思ったことか
たとえ悔いは苦くとも、恋することの甘き味
哀れな心はいつまでも、あの人だけを思っています

5. Brauner Bursche führt zum Tänze

日焼けした若者が踊りに行く

日焼けした若者が踊りに誘う
青い瞳の美しい娘を、
拍車を強く打ち鳴らしゃ
チャルダッシュの調べが起る、
可愛い小鳩をキスして抱いて
踊り廻ってヤッホーと跳ねる、
銀貨を三つシンバルに投げりや
シンバルが鳴るよ

6. Röslein dreie in der Reihe

三つの赤いばらが

バラが三輪並んで、真赤に咲いた、
だからあの娘のところに行けます！
神様、そんなことができないならば
広いきれいな世界も失せて
罪が独身で残るでしょう！

アルフェルトで一番美しい町はケツチケメット、
きれいな可愛い乙女が沢山います！

友よ、そこで花嫁を見つけ
想いを打ち明け、愛の巢を、
そして歎びの乾益を！

7. Kommt dir manchmal in den Sinn

聖なる誓い

愛しい人よ、度々思い出しますが、
いつか聖なる誓で約束したことを？
私をだまさないで、見捨てないで
あなたは私の想いをご存知ない、
愛して下さい、私が愛するように、
そうしたら、神様のお恵みがあなたに注ぐでしょう！

8. Rote Abendwolken ziehn

赤い夕焼け雲

赤い夕焼け雲が夫空に棚引く
恋人よ、お前への憧れに満ちてわが心も燃える
天は壮麗に光り輝き
日ごと夜ごとに夢みる
ただひとり恋せし人のことを



音が出ると音がすぐ出る
AXIA'S STABLE TAPE RUNNING MECHANISM FOR CD.
ショートリーダーテープ採用

この夏、超人気のPSがさらにパワーアップ、1.5秒ですぐ音が出る
ショートリーダーテープの採用で、リバーブがなんと8秒も短縮
(当社比) 待ちきれないサウンドのために、New PS誕生。

PS

60
PS2
PS1
META

ミサは、ローマ・カトリック教会の礼拝儀式であって、きわめて略式なものは「読誦ミサ」といわれ、全く音楽を用いないか、或いはグレゴリオ聖歌が単旋律で唱えられるにすぎない。一方、司教や大司教などの高位聖職者が司式する正式のミサは、儀式としても大かかりなもので、聖歌隊や、各種の装飾、薫香などを用いて行い、この方は「荘厳ミサ」と呼ばれ、かなり長時間にわたる礼拝である。この「荘厳ミサ」のための音楽は、15、16世紀にもっとも隆盛をきわめた純音楽的なものから、18世紀以後の管弦楽の伴奏をもなうものまで、大小の作曲家によって無数につくられている。ミサのための音楽は、その演奏形態の拡大にともなって、次第に純礼拝の用に供せられるものからはみ出してゆき、演奏会場に持ちこまれた。こうした「演奏会用ミサ曲」においては、本来、司式者によってとなえられべき「イントナチオン」——（「グロリア」ならばはじめの四語。グレゴリアンによってとなえられる。）——にも作曲がつけられていて、儀式用としてはいささか外面的効果の華麗すぎるものもある。本日演奏されるデュオウバ作曲のものは、フランスの大合唱運動「オルフェオン」——19世紀前半から発展したもので、合唱祭やコンクールを開催し、会長には大作曲家シャルル・グノーも就任していたことがある。——の合唱祭のため名なト長調のオルフェオン・ミサがある。——の合唱祭のために書かれたもので、演奏会用ミサの典型である。

アルベール・デュオウバについては、アラス大寺院のオルガンニスト兼聖歌隊長であったことと、オルフェオンの指導者であったこと以外、何も知られていない。この荘厳ミサ曲は、当時、ローマの最高法院に向中のオーヴェルニュ公に捧げられている。（以上は、楽譜の第一頁に記述されているところで、現在、日本では、これ以上のことは判明していない。このミサ曲は、男声合唱曲のレパートリーの不足になやむ日本の合唱界において、しばしば演奏される有名曲であるが、おそらく本国フランスでは忘れ去られてしまった作曲家であり、曲ではないかと思われる。）

カトリックの典礼というものが生活感の中に乏しい日本国内において、一般の、たとえば大学男声合唱団で「ミサ曲」を採り上げようとするとする場合、音楽的な“了解し易さ”、つまりメロディの美しさと親しみやすさ、和音の充実と変化の面白さ、声を存分に出すことができ演奏実感に満ちていること、などなどの理由で、このデュオウバの「荘厳ミサ」は、有名なグノーの「オルフェオン・ミサ」に比較しても、いっそう有用なものと考えられる。日本の著名な男声合唱団の数多くが、この曲をレパートリーとしてきた。（福永陽一郎～早稲田大学グリークラブ第27回定期演奏会プログラムより転載）

FROM THE SUNNY SOUTH

フォスター・メドレー

ステイーヴン・コリンズ・フォスターの曲の受入れ方は、その年代によってさまざまであると思われる。「Massa's in De Cold, Cold Ground」にしても、比較的年齢の高い方々は「吹けそよそよ吹け、春風よ……」という『春風』の歌詞を思い浮かべるであろうし、戦後すぐ小学校に学んだ世代は、『ゆうべのかね』を「むかしの人はいまいずこ、おとずれ来てたたずめば……」と口ずさむであろうし、さらに若い人々は「青く晴れた空そよ風やさしく昔をかたる……」で始まる『主人はは冷たい土の中に』の合唱や、リコーダー合奏をした経験をお持ちのひとであろう。今日のステージで歌われる“Old Folks at Home”も、『あわれの少女』『花よりも愛でにしわが子よ』『故郷の人々』などさまざまな歌詞で歌われてきた。

明治以後、長い歳月の間日本人に親しまれてきたフォスターの歌曲について、小田原男声合唱団育ての親、故福永陽一郎先生は、次のように述べておられる。

フォスターの有名な歌曲は、日本において、明治時代のはやくから盛んに移入された。日本の初期の音楽（洋楽）輸入が、アメリカ経由であったために《蛍の光》や《庭の千草》などのスコットランドやアイルランドの民謡的歌曲の多くと共に、フォスターの、なかば民謡化された歌曲も、学校唱歌や賛美歌にどんどん採り入れられた。そうして、そのメロディは、本来の親しみ深さからも、『思い出の名曲』として広く日本人の間に浸透していったのである。

フォスターは大作曲家というわけではないが、しかし、19世紀のアメリカの作曲家で、その作品だけで一冊の歌曲集やレコードアルバム（1枚のLP）を組むことのできるだけの数の秀作をものにした者は、ほかに一人もいない。その各歌曲の人口に膾炙した範囲の広さや浸透の深さを考えれば、ステイーヴン・フォスターは、だれにも負けない“ビッグ・ネーム”である。フォスターの歌曲はもともと「ミンストレル・ショウ」のために作曲されたものもあって、オリジナルがすでにリフレーンをコーラスで歌うように書かれていたこともあり、またその様式の簡素な点や民謡に近い形態からいって、かなり以前から合唱用に編曲されることが多かった。20世紀後半の今日でも、アメリカの合唱界を代表するロバート・ショウやロジェ・ワグナーといった第一人者が、すぐれた編曲を残し、レコードにも録音している。

日本でも、合唱という演奏形態が始まって以来、種々の編曲がなされ、出版されたものも数多く存在した。かくいう筆者も、合唱及び合唱の編曲に興味を持って以来、何度となくフォスター作品の合唱化に手を付けて来た。

本日演奏する編曲は、筆者の30年ほど前の“旧作”であるが、1956年の初めての渡米の帰路、現地アメリカで収集した資料に基づいて、20日間の船旅のうさばらしに、太平洋上のキャビンで執筆した、筆者としては、フォスターの総集決定版的意味を持った編曲であった。当時のプロフェッショナル男声合唱団「東京コラリアーズ」によって演奏されたものである。

曲目解説

Zigeunerlieder 「ジプシーの歌」

ヨハネス・ブラームス(1833~1897)は、ロマン派音楽の流れの中で、様式的に古典の伝統を継承しようとした作曲家で、交響曲、協奏曲、室内楽曲、歌曲など、オペラ以外の分野で幾多の傑作を残した大家であることは改めて喋々する必要もないだろう。彼は、合唱音楽の分野でも、音楽史上欠かすことのできない重要な作品を残した。

ブラームスの合唱曲といえは、まず宗教的な大作「ドイツ鎮魂歌」をあげるのが普通であろうが、ブラームスがカトリックの典礼とは全く無関係であったこともあって、むしろ市民の合唱運動の要請に従った世俗合唱が、量的にも圧倒的に多い。よく知られた名曲として「運命の歌」(Op. 54)「アルト・ラプソディ」(Op. 53)「ネニエ」(Op. 82)などがあり、作品目録には、さらに多数の合唱曲が見出される。また、「愛の歌」(Op. 52)「新しい愛の歌」(Op. 65)「ジプシーの歌」(Op. 103)などは、「美しい夜」などを含む多数の四重唱曲と同様、初演のとき、すでに室内合唱団によって歌われたものであり、いままも普通に、合唱用のレパートリーとして扱われている。(シューマンの「流浪の民」も、元来四重唱曲である。)そのほかにも、ドイツ民謡の編曲やカノンやロマンスといった小品など、一口には挙げきれないほどの合唱作品を、ブラームスは残したのである。

「ジプシーの歌」は、ピアノ伴奏によるソプラノ、アルト、テノール、バスの四重唱のための、全部で11曲からなる歌曲集である。ブラームスは後にこのうち8曲を独唱用に編曲した。また、作品112の六つの四重唱曲の後半4曲をもまた「ジプシーの歌」の題名を持ち、同様の音楽的性格を見せている。しかし、普通「ジプシーの歌」といえば、この作品103の11曲を指し、旧来(ドイツ語圏ヨーロッパでも)混声合唱で歌われることが多い。

ブラームスはハンガリー・ジプシーの音楽に対する強い嗜好を持っていた。ピアノ連弾のために作曲され、後にオーケストラ用に編曲された「ハンガリー舞曲」全2巻は有名であるが、それらが要するにジプシー音楽の編曲であるのに対し、「ジプシーの歌」は、ハンガリーの民謡の歌詞をドイツ語に訳したものに作曲した“オリジナル”である点が異なっている。ジプシー風である以上すべて4分の2拍子の楽曲であるが、リズムや音楽の雰囲気は一曲一曲、性格を異にしており、親しみやすい色彩的であると同時に変化に富み、聴く者を飽きさせない。

1877年夏から12月にかけて作曲され、私的な初演は、完成直後の冬ブラームスの友人宅のサロンコンサートで行われた。このときテノールの歌唱の優れた歌手であり、ブラームスの歌曲の普及にも力を尽くした人であった。この曲のテノールの声部が特に重視されているのは、このフォルサーの声を生かそうとしたブラームスの意図があったと思われる。男声合唱用の編曲は、すでに全11曲の版がドイツ、オーストリアで出版されているが、ここでは、独唱用と同じ8曲を福永陽一郎が細中民輔のために編曲した版が使用される。(福永陽一郎~小田原男声合唱団第7回定期演奏会プログラムより転載)

ラプキッツェン
オードブル、弁当、仕出し



お電話一本で、ご予約できます。
〒258 松田町惣領1138 ☎0465(83)6742

みやまのおくの やどりきの里
丹沢国定公園観光旅館



乎成館

〒258 松田町寄5520 ☎0465(89)2611

日本民謡集

名も知らぬ人達の昨日に続く今日の暮らし、生まれそして育ち、再び大地に帰る日までの喜びと悲しみをこめて、民謡は幾世代にもわたって、人々の間に歌い継がれて来た。仕事の辛さを和らげ、能率を高め、また妻や子たちへの愛を歌い、愛しい人への素朴な恋の打ち明け、わが住む土地へのほめうたなど、民謡は常に人々の生活に欠かせないものであった。

洋の東西を問わず、人が集まれば歌が出るのはきわめて自然なことだが、長いことユニゾンで歌うことに馴れきってしまっていた日本人にとって、民謡にハーモニーをつけ、二部、三部の合唱で歌うことはなじまないことであった。ヨーロッパやロシア、アメリカの民謡を歌うことはあっても、自国の民謡に触れる機会が少ない私たちにとって、単に西欧的なハーモニーで処理しただけでない、合唱曲として十分機能するすぐれた合唱曲を歌いたいという願いは、多年に亘るその道の先達の努力によって、日本の伝統音楽にふさわしいハーモニーを持った民謡の編作曲となって実現した。特に仕事唄を素材にしたそれらはシー・シャンティなどと同様に、男声合唱団の重要なレパートリーになった。

本日演奏される日本民謡は、いずれも広く知られたもので何の説明も要しないが、今まで小田原男声合唱団がしばしば歌ってきた福永陽一郎編曲のもの他、小山清茂、石井敏、宮花秀昭諸氏の編曲も取り上げた。同一素材からいかに作曲家が意匠を凝らし、作品として完成させたか、聴き比べていただけると思う。中には「島原の子守唄」のように、現代生れの曲もあるが、そこに息づくひとのこころは長い間歌い継がれたものと同じ等変わるものではない。なお、「斎太郎節」と「遠島甚句」は、合わせて「大漁歌い込み」として歌われることが多く、伴奏の音形にも類似性が見られるが、ここでは独立した曲として演奏される。



慎んでご冥福をお祈りします

吉田 晃氏 創立以来のメンバーの一人であり、トップテノールのパートリーダーを務めると共に、ソロでも活躍した吉田晃さんが、10月23日逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。敬虔なクリスチヤンとして、人を愛し、歌を愛し、誠実に過ごされたその生涯を偲び、ともに歌った日々を思いをこめて、わたしたちの歌を捧げたいと思います。

1994～1996 小田男カレンダー（予定も含む）

| 年・月・日 | 曜 | 演奏会名等 | 会場 | 指 | 揮 |
|------------|---|---------------------------|---------------|-------|------|
| 94. 7. 19 | 土 | 第23回定期演奏会 | 小田原市民会館 | 外山浩爾 | 渡邊決己 |
| 94. 7. 24 | 日 | 全日本合唱連盟関東支部講習会 | 横浜旭区文化センター | 荒谷俊治 | |
| 94. 10. 2 | 日 | 第28回小田原市民合唱祭 | 小田原市民会館 | 渡邊決己 | |
| 95. 2. 18 | 土 | 西湘音楽フェスティバル(アッチェニ・コロリアッチ) | 小田原市民会館 | 三石精一 | |
| 95. 4. 22 | 土 | 神奈川男声合唱協会結成演奏会 | 小田原市民会館 | 外山浩爾 | 渡邊決己 |
| 95. 5. 28 | 日 | 第44回湘南合唱祭 | 秦野市民会館 | 渡邊決己 | |
| 95. 10. 15 | 日 | 第29回小田原市民合唱祭 | 小田原市民会館 | 渡邊決己 | |
| 95. 11. 11 | 土 | 第24回定期演奏会 | 松田町民文化センター | 外山浩爾 | 渡邊決己 |
| 95. 11. 23 | 日 | ケンペル・バーニー祭 | 箱根町御殿公園 | | |
| 95. 12. 13 | 水 | メサイヤ演奏会 | はまぎんホール ヴィアール | 大友直人 | |
| 95. 12. 22 | 金 | 小田原室内合奏団演奏会 | 小田原市民会館 | | |
| 96. 2. 25 | 日 | 神奈川県合唱フェスティバル | 神奈川県立音楽堂 | | |
| 96. 3. 16 | 土 | 西湘音楽フェスティバル (モーアト戴冠式) | 小田原市民会館 | 黒岩英臣 | |
| 96. 4. 21 | 日 | 『陽ちやんといっしょ』 | 東京・紀尾井ホール | 渡邊決己 | |
| 96. 5. 26 | 日 | 第45回湘南合唱祭 | 茅ヶ崎市民文化会館 | 渡邊決己 | |
| 96. 9. 22 | 日 | 第12回 J A M C A (日本男声合唱協会) | 東京池袋芸術劇場 | 荻久保和明 | 渡邊決己 |
| 96. 10. 13 | 日 | 第30回小田原市民合唱祭 | 小田原市民会館 | 渡邊決己 | |
| 96. 11. 2 | 土 | 第25回定期演奏会 | 小田原市民会館 | 石井 敏 | 渡邊決己 |

1994～1995 演奏曲目

| No | 作曲者(編曲者) | 曲名 | No | 作曲者(編曲者) | 曲名 |
|----|------------------|------------------|----|-------------------|--|
| 1 | 大中 恩 | 夜の青空 | 10 | デュオウババ | 荘厳ミサ |
| 2 | 清水 脩 | アイヌのウポホ | 11 | フォスター (福永陽一郎) | 草薙馬、金髪のジュエー 夢見る人、オーボエワグナー ケンタッキーのわが家、故郷の人々 |
| 3 | 池辺晋一郎 | 加シ・ロカの『五つのジャンソソ』 | 12 | 宮城民謡 (小山清茂) | 遠鳥甚句 |
| 4 | ロンバーク (福永陽一郎) | ミュージカル『ニュームーン』 | 13 | 石井 敏 | 刈干切唄 |
| 5 | アッチェーニ | グローリア・ミサ | 14 | 宮城民謡 (竹花秀昭) | 斎太郎節 |
| 6 | ベルディ | 乾杯の歌 | 15 | 宮崎一章 (福永陽一郎) | 島原の子守歌 |
| 7 | マスカーニ | オレンジの花は香り | 16 | 熊本地方民謡 (福永陽一郎) | おてもやん |
| 8 | 清水 脩 | 月光とヒエロ | | | |
| 9 | ブラームス (福永陽一郎) | ジプシーの歌 Op. 103 | | | |

オダダンの“MEN”BERS

トアップテノール：石山 誠 (藤 沢) 加藤重章 (秦 野) 加藤重章 (秦 野)
 セカントテノール：中山 弘光 (藤 沢) 西山廣木代 (二宮 徹) 西山廣木代 (二宮 徹)
 バリトン：高橋 本信雄 (苗足 柄) 足利箱之 (湯河原) 下村興毅 (秦 野)
 ベース：青野正純 (小田原) 柏木秀茂 (厚 木) 下沢 信 (小田原)
 星野正博 (茅ヶ崎) 和野修司 (秦 野)

川久保公正 (小田原) 伊東清邦 (秦 野) 伊東清邦 (秦 野)
 長谷川幸雄 (小田原) 松本和夫 (小田原) 松本和夫 (小田原)
 佐藤精孝 (二宮 宮) 井上忠彦 (小田原) 井上忠彦 (小田原)
 宝子山高生 (小田原) 杉本英嗣 (小田原) 杉本英嗣 (小田原)
 渡辺誠之 (小田原) 渡辺誠之 (小田原)

北岡一夫 (厚 木) 福嶋 修 (小田原) 福嶋 修 (小田原)
 杉本健一 (秦 野) 杉本健一 (秦 野) 杉本健一 (秦 野)
 氏家慶明 (山 北) 氏家慶明 (山 北) 氏家慶明 (山 北)
 日下部 鳴 (平塚) 日下部 鳴 (平塚) 日下部 鳴 (平塚)
 田島達也 (南足柄) 田島達也 (南足柄) 田島達也 (南足柄)

第24回定期演奏会スタッフ
 実行委員長 日置達男
 演出 福嶋 修
 アログフレーム 足利裕之

事務局長 井上忠彦
 事務局長 青野幸夫
 会計 招待状 加藤重章

和司 加藤重章
 招待状 加藤重章

小田男声合唱団運営スタッフ
 団長 柏木秀茂
 副団長 技術部長 松本和夫
 副団長 財政部長 足利裕之
 副団長 団員部長 福嶋 修

渡邊決己 副指揮者 松本和夫
 池田 渉 部長 長谷川 幸雄
 福嶋 修 部長 足利裕之
 事務局長 井上忠彦

アピロピア

東洋ピアノ製造株式会社



井上楽器

小田原お堀通り
 TEL 24-0515